

科目ナンバリング		P-PUB01 8M026 LJ90									
授業科目名 <英訳>		メディカル分野技術経営学概論 Introduction to Technology Management in Medical Science				担当者所属・ 職名・氏名		非常勤講師 山本 博一 医学研究科 特定講師 池田 隆文			
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2020・ 前期不定	曜時限	木 6	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
<p>近年、様々な新しい技術の出現と医療領域への応用のが進み、医療関連産業には、医薬品産業、医療機器産業といった従来のカテゴリーを超えた新しいビジネスモデルの登場など、大きな変化が生じている。本授業では、医薬品（新薬）及び医療機器の研究・開発、標準化、特許、ライセンス、産学連携、バイオベンチャーなどの基礎を学ぶとともに、これら新しい流れについてその概略を学ぶ。学内の講師とともに、医療産業や大学、行政で活躍されている方を複数外部講師として招へいし、現実の活動に触れることにより、医療産業の開発プロセスを支える最新技術、戦略、組織について講義を行う。</p> <p>医薬品及び医療機器、再生医療産業には、ライフサイエンスの最先端の研究成果のみならず、行政の観点、倫理の観点から見た課題解決や、ベンチャーや産学連携組織の構築など、様々な分野の研究の成果が集積している。また、新しいビジネスモデルの登場とともに、従来の枠を超えたオープンイノベーションの枠組みが重要となってきた。医療産業に興味のある多様な専門性を持った受講生が、産業の全体像を理解し、自らの専門性が本産業において果たす役割と重要性を理解できることを目的とする。</p>											
<b>[到達目標]</b>											
<p>上記を通して、医療関連産業の最近の動向を学ぶとともに、同産業に必要とされる技術・ビジネス、また大学の研究成果の移転、大学発ベンチャー創出などの基礎知識を持ち、医療関連ビジネスにかかわる基礎的な能力を得る。研究者を目指すのであれば、自身の研究の産業化、技術移転に必要な要素を学び、企業との共同研究の企画などの参考となる事象を理解できる。</p>											
<b>[授業計画と内容]</b>											
<p>第1回 4月9日 本講座の概要</p> <p>第2回 4月16日 医薬品開発の基礎I</p> <p>第3回 4月23日 医薬品開発の基礎II</p> <p>第4回 4月30日 医療産業における国際標準化の重要性</p> <p>第5回 5月7日 医療機器の薬事規制について</p> <p>第6回 5月14日 医療とAI</p> <p>第7回 5月21日 バイオベンチャーの役割</p> <p>第8回 5月28日 医薬品産業におけるモダリティの多様性について</p> <p>第9回 6月4日 デジタルヘルスと医薬品産業</p> <p>第10回 6月11日 抗体医薬</p> <p>第11回 6月25日 個別化医療と製薬企業</p> <p>第12回 7月2日 米国のベンチャーキャピタルの動向</p> <p>第13回 7月9日 創薬におけるオープンイノベーション（1）</p> <p>第14回 7月16日 創薬におけるオープンイノベーション（2）</p> <p>第15回 7月30日 医療産業の研究開発における課題と将来</p>											
* 外部講師の都合により日程変更等の可能性があります。											
----- メディカル分野技術経営学概論 (2)へ続く↓↓↓											

## メディカル分野技術経営学概論 (2)

### [履修要件]

知財必修・MPH選択

医療関連産業に興味をお持ちの方はどなたでも受講可能です。

### [成績評価の方法・観点]

平常点（出席を含む）、発表とレポートにより総合的に評価する。

### [教科書]

使用しない

### [参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

### [授業外学修（予習・復習）等]

適宜予習復習を求める

（その他（オフィスアワー等））

前半（1回から5回）はLIMS（知財経営&国際標準化）、2回から3回は創薬医学との共通講義となります。

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可

※オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。